

北陸大学野球連盟

高岡法科大学硬式野球部

TAKAOKA UNIVERSITY OF LAW BASEBALL CLUB

入部案内

WAY TO THE VICTORY 2017



野球道者



The True Baseball Players



君の力を
待っている

高岡法科大学硬式野球部

自覚 自立 充実

じかく

じりつ

じゅうじつ

自覚を著生えさせ

自立心を養い

日々の生活の充実をはかる

君の夢が
待っている



高岡法科大学硬式野球部の軌跡

平成元年	野球部創部	平成11年	春季リーグ戦優勝
平成8年	秋季リーグ戦初優勝		全日本大学野球選手権大会出場
平成9年	春季リーグ戦優勝		1回戦 対東亜大学
	全日本大学野球選手権大会初出場	平成13年	秋季リーグ戦優勝
	1回戦 対関東学園大学 勝利	平成21年	春季リーグ戦優勝
	2回戦 対近畿大学		全日本大学野球選手権大会出場
平成10年	秋季リーグ戦優勝		1回戦 対白鷗大学

高岡法科大学硬式野球部

TAKAOKA UNIVERSITY OF LAW BASEBALL CLUB

**北陸大学リーグ優勝6回を誇る強豪校
 自主性を重んじる野球スタイルで北陸NO.1を目指す！**

平成元年に高岡法科大学の創設とともに創部された硬式野球部は、北陸リーグの強豪校として常にトップを目指してきました。平成8年の秋季リーグで初優勝し、翌平成9年には春季リーグ優勝を果たし、第46回全日本大学野球選手権大会にも初出場し、大会初勝利も果たしました。その後も、何度も優勝を果たし、最近では平成21年の春季大会に優勝し、全日本大学野球選手権大会に出場しました。その時のエース矢地健人投手は卒業後に中日ドラゴンズに入団しています。自主性を重んじ、自ら考えて行動することは大学自体の基本理念でもあり、卒業生からは野球選手はもちろん警察官や消防士をはじめとする多くの公務員、企業人など社会に貢献する人材を輩出してきました。



高岡法科大学

本学は、平成元年に、富山県第二の都市である高岡市に設立された大学です。国家公務員をはじめ県庁・市役所職員や警察官などの公務員、さらには法科大学院合格者、一流企業への就職者を多数輩出し、地域の発展に貢献してきました。

本学キャンパスは、加賀百万石の下で育まれた伝統文化が息づく古都高岡の自然豊かな郊外に位置し、隣の砺波市では、毎年多くの方が訪れる有名チューリップ祭りが5月に開かれています。

平成27年3月には北陸新幹線も開通し、また同じく3月には北陸自動車道高岡砺波スマートインターチェンジが本学近くに開通しており、ますます便利になり、高岡も更なる発展が期待されています。整った環境で野球に、そして勉強に打ち込む事が出来ます。



大学で野球を続けたい高校生のみなさんへ

高校を卒業しても野球を続けたい！ だけど大学の練習についていけるのか、また大学の野球部ってどんな雰囲気なのだろう？ 皆さんは色々な不安をお持ちだと思います。高岡法科大学硬式野球部は、規模の大きな野球部と違い、選手ひとりひとりが目標をもって、先輩も後輩もお互いに協力しながら頑張る元気なチームです。勉強においても、お互いに刺激しあいながら、多くの先輩達が資格取得や警察官・消防官などを目標として切磋琢磨しています。

高岡法科大学では、野球部の練習に実際に参加し、練習の雰囲気を見学・体験する事が出来ます。ぜひ自分の目で確かめてください。大歓迎ですので、いつでも問い合わせてください！



チーム詳細

- 【所属】 北陸大学野球連盟
- 【所在地】 富山県高岡市戸出石代307-3
- 【合宿所】 富山県砺波市
- 【グラウンド】 大学横（野球グラウンド、雨天練習場、屋根付ブルベン）
- 【創部】 平成元年
- 【優勝数】 6回
- 【部長】 金岡 克文
- 【監督】 畑山 隆
- 【コーチ】 中野 勝彦、中 瑞毅
- 【トレーナー】 嶋本 俊也
- 【主将】 熊崎 文洋
(中京高校 :岐阜県)

【過去6シーズンの成績】

- 平成28年春 6位(2部リーグ降格)
- 平成27年秋 3位
- 平成27年春 5位
- 平成26年秋 6位
- 平成26年春 3位
- 平成25年秋 4位

【北陸大学野球リーグ】

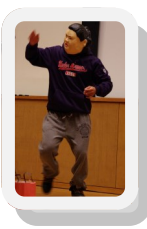
高岡法科大学野球部が属する北陸大学野球連盟(富山、石川、福井)には、1部(6チーム)、2部(7チーム)があり、春と秋にリーグ戦が開催されます。



学生生活

皆さんが本学に入学されれば、大学生としての楽しい学生生活が待っています。もちろん大学の勉強、そして野球の練習に打ち込む事も大切ですが、大学で様々な経験をする事も、皆さんにとっても大切な事です。本学では、球技大会（バトミントン、ビーチバレーなど）や大学祭が開催され、野球部もこれに参加しています。昨年の大学祭では、例年のカレー屋ではなく、関西出身者を中心にたこ焼き屋を出店し大好評でした。また、カラオケ大会で歌って踊って賞金をもらった部員もいます。

野球部の先輩達は他にも様々な事にチャレンジしています。例えば、将来に備え、大学からはじめて日商簿記の資格やコンピューターサービス試験のワープロや表計算の資格を取得している先輩もいます。皆さんも充実した学生生活を送ってください。



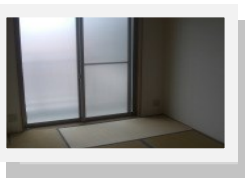
寮生活

高岡法科大学には設備が整った寮(下写真)があり、遠隔地の皆さんも安心して入学することができます。大学へはバスの送迎があるので、大学に通うのにも不便はありません。みんな楽しく過ごしています(右写真)。

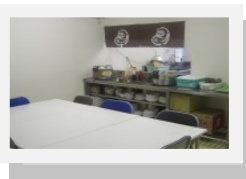
とはいえ、親元を離れて生活する中では、大変な事もたくさん起こると思います。しかし、仲間や先輩と一緒にそれを乗り越えることは、皆さんの人生にとって大変有意義な経験となると思います。そしてなにより、野球が大好きな、同じ目標をもった仲間や先輩との生活は、皆さんの学生生活を豊かなものにしてくれますし、そこではぐくまれた友情は皆さんの生涯の支えとなると思います



硬式野球部寮外観



寮部屋



寮食堂

野球で培った体力・精神力で社会に貢献！

卒業後の進路について

野球に打ち込み、充実した学生生活を送った後、気になるのが卒業後の進路だと思います。皆さんは本学で、法律を中心に様々なことを勉強する事になります。しっかりと目標を持って勉強した多くの先輩が公務員、特に野球で培った体力と精神力を生かして消防官や警察官となっています。もちろん、大手一般企業や、卒業後も野球を続ける道、プロ野球や社会人・クラブチームへ進んだ先輩もたくさんいます。そんな皆さんの先輩達の声を紹介します。



田中 翔(平成25年卒、富山県出身) 伏木海陸運送

高岡商業高校出身。1年次からキャッチャーを務め、リーグ首位打者にも輝き、北陸大学野球リーグのベストナインにも4回選出されました。硬式野球部の主将も務め、卒業後は伏木海陸運送(社会人チーム)に所属しています。日本野球連盟が社会人野球の若手有力選手を招集して実施する「新人研修会」の参加者 にも選ばれました。



今井 貢至(平成26年卒、長野県出身) マルイ産業 佐久コスモスターズ所属

東京都市大塩尻高校から高岡法科大学に入学しました。学生時代は、しっかりとした生活態度が、プレーにもあらわれると考え、寮生活も含めて弛まず努力を続けました。そして、副キャプテンとしてチームをまとめ、優勝目指して練習に励みました。卒業後はクラブチームに所属して野球を続けています。皆さんも自分の信念を持って、高岡法科大学で野球に打ち込んでください。



南保 真也(平成26年卒、富山県出身) 黒部市役所

私は富山県の出身で、将来は地元の市役所で仕事をしたいと考えていました。しかし、野球と公務員試験の勉強の両立は大変で何度も諦めそうになりました。しかし、仲間や大学の先生方に助けられて、野球にも、勉強にも一生懸命取り組み、希望していた黒部市役所に合格できました。今は、都市建設部建設課に所属し、市民の皆さんのために毎日頑張って、充実した毎日を過ごしています。皆さんも、自分の目標をしっかりとって、野球に、勉強に、励んでください。



松井 契(平成27年卒、富山県出身) 東部消防組合

子供の頃から消防士にあこがれていました。しかし野球を大学でも続けたいと思い、上市高校から高岡法科大学に進学しました。数学の講義をとるなど準備をしてきましたが、本格的に公務員試験の勉強を始めたのは、4年生になった頃でした。しかし、家族や先生方、仲間達の協力、励まして富山県警と地元の消防を担当している東部消防組合に合格することが出来ました。大学生活も楽しく、学園祭などたくさんの思い出があります。野球をしながら夢を叶えることができ本当に良かったと思っています。



津山 拓海(平成28年卒、兵庫県出身) 佐川印刷

私は中学時代にシニアの全国大会で準優勝し、より厳しい環境を求めて長野県の高校に進学し、高校3年の夏には一塁手として甲子園に出場することができました。そして、もっと上手くなるため大学でも野球を続けようと、高岡法科大学に入学しました。最初は思ったような成績はだせませんでしたが、3年からはレギュラーに定着し、内野のチーフを任せられるようになりました。卒業後は、監督や多くの先輩方のすすめもあって佐川印刷に就職しました。皆さんも、率先していろんなことにチャレンジし、自分の道を切り開いていってください。



井上悠（平成28年卒、新潟県出身）プリヂェストンタイヤジャパン

私は2年生の時、怪我などからチームを辞めようとしたのですが、先輩方に励まされ、仲間達を支えようと主務になりました。主務はリーグ戦に向けて練習試合の相手を探しますが、「私は明るく元気に」をモットーに何十チームとも交渉し練習試合を取り付けてきました。就職活動でもこの経験を糧に、粘り強く活動を続け、プリヂェストンタイヤに就職することができました。現在は、新人採用のお手伝いをするリクルーターにも抜擢され、充実した日々を過ごしています。皆さんも何事にも一生懸命取り組んでいってください。

高岡法科大学最近3年間就職先一覧

【公務員】 渋谷区役所、渭川市役所、黒部市役所、大阪府警、富山県警、秋田県警、法務省（法務教官）、富山東部消防組合など。

【一般企業】 富山銀行、日本郵便、富源商事、セントラルメディカル、富山市J A、J A黒部、花咲ふくい農業協同組合、センチュリーホームなど。

詳しくは大学案内をご覧ください。

☆2015年本学卒業生で金沢大学法科大学院に進学した学生が司法試験に合格しました。

※司法試験合格者は弁護士・検事・裁判官となります。

今年度新入生から

今年の1年生は総勢20名と多く、富山はもちろん石川、新潟、長野、京都、福岡など全国の様々な場所から高岡法科大学に入学しました。目標はみんなで神宮に行くことです。すでに何人かは春のリーグ戦でレギュラーとなり活躍しています。先輩や仲間と一緒に寮生活、大学生活は大変なところもありますが、野球だけではなく資格取得などにも積極的に取り組む先輩達に支えられて毎日がんばっています。みなさんも僕たちと一緒に夢を追いかけましょう！



在学生からも一言



片山 誠也（平成26年入学、3年生、京都府出身）

1年春のリーグ戦からレギュラーとして出場し、4割7分2厘で首位打者になり、2季連続でベストナイン(DH)にも選ばれました。その後は正捕手としてマスクをかぶることも多くなり、相手に警戒されてなかなか思うようなバットイングができませんでした。そして、3年となった今年の春のリーグ戦では5割を打って首位打者・ベストナインとなりましたが、チームを2部に降格させてしまいました。けれど、ここが新たなスタート！自分は負けん気が強いのが自慢です。神宮まで必ず這い上がってみせます！一緒に神宮を目指そう！



佐竹 惇彦（平成26年入学、3年生、大阪府出身）

内野手として2年秋からレギュラーとしてプレーしてきました。そして、野球に打ち込むと同時に将来を見据えて資格取得にも積極的に取り組み、1年次にはコンピューターサービス試験フープ3級、表計算3級を取得しました。また大学で勉強をはじめた簿記も、2年生秋に日商簿記3級試験に合格することができました。今シーズンは当初怪我で悔しい思いをしましたが、最後にはレギュラーに復帰できました。今は、1部復帰、さらには日商簿記2級合格を目指しています。大変なこともありますが、先輩や仲間と助け合い、後輩達を叱咤激励ながら充実した大学生活を過ごしています。一緒に頑張りましょう！



高岡法科大学

〒939-1193 富山県高岡市戸出石代307-3

☎0766-63-3388

詳しくは野球部ホームページをご覧ください。

<http://www.takaoka-bt.sakura.ne.jp>
